

県道改良の要望は 引き続き強く要望



やまもと ひさお
山本 久夫 議員

問

県道の改良については、町の所管ではないが県道改良の要望は一般質問の許される範囲と考える質問をする。

町内の県道においては、各路線が町民の生活道となっている。

県道の改良は、町民の安全を担保することに繋がりが重要なものと考え、執行部も承知している

とは思いますが、現在、改良を進めている県道秋丸佐賀線が、今年度において完成する状況である。

県の事業継続が必要であり、佐賀地区の未改良の県道住次郎佐賀線の改良を引き続き実施してもらうことが重要である。

また地区の要望事項にもなっている。

この路線についても延長が長く完成には相当な時間と予算が必要である。

取り急ぎ地区の終点側の未改良区間を改良することを要望するものであるが、町としての取り組みを問う。

答

河村 建設課長

町内における県道は10路線あり、現在継続的に改良を実施している路線は5路線である。

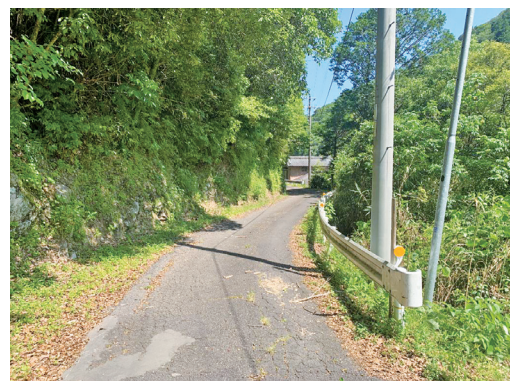
県道住次郎佐賀線は市野々川地区の終点側において幅員が狭く、この地区と国道や他地区とを結ぶ唯一の道路となっており、町としてもこの路線は大変重要な路線と認識している。

これまでも、この路線の改良や維持修繕の要望を行ってきた。

特に、地区の終点側の幅員が狭い区間の改良については、地区要望としても強く出されていることも承知している。

町としても強く要望をしていきたい。

また住次郎佐賀線の要望はもとより、他の路線の改良、維持修繕の要望等とも併せて引き続き、県に対し要望活動を行いたい。



地区終点の未改良区間